

## 姉妹（友好）都市以外の自治体の国際交流について（結果概要）

### I 趣旨

(一財)自治体国際化協会は、地方自治体等が国際交流事業を実施する上で参考としていただくため、毎年度、姉妹(友好)都市以外の自治体の国際交流事業の実績を調査し、その結果を公表しています。

### II 調査の概要

#### 1 調査時期

令和2年8月

#### 2 調査対象

海外の自治体と姉妹（友好）都市以外の国際交流を行った地方自治体

#### 3 調査方法

電子メールにより調査票を各支部（都道府県・政令指定都市）宛に、市区町村は都道府県支部を経由して送付した。342の自治体から回答を得た。

#### 4 調査内容

令和元年度中に海外の自治体等との間で行った姉妹（友好）都市以外の国際交流事業について、「事業分類」及び「事業内容」を調査した。「事業分類」は別表のとおり。

<事業分類>

事業分類	例
A 教育交流	小学生・中学生・高校生・大学生の交流 生徒による作品の交換・展示・教員の交流、その他
B 文化交流	音楽・芸能・芸術家等の派遣・受入、文化団体の派遣・受入 芸術作品・民芸品等の交換・展示、文化的施設・物品等の寄贈・受入、 文化関係イベント等の開催・参加、動物・植物等の交換、 語学講座・スピーチコンテスト等の開催、 ジャーナリスト・マスコミ関係者の派遣・受入、 刊行物（図書）・ビデオ・フィルム等の交換・発行、 学術交流
C スポーツ交流	スポーツ選手・チームの派遣・受入、協議会の開催
D 保健・医療・福祉交流 （非常時の連携協力含む）	医師・看護師等の技術者・研修生の派遣・受入、 保健師・介護福祉士の技術者・研修生の派遣・受入、 職員の派遣・受入、医療情報交流、医療設備・器具の寄贈、 非常時の連携協力
E 経済交流（農業等）	専門家・研修生・視察団・関係団体の派遣・受入（水産業含む）
F 経済交流（工業等）	専門家・研修生・視察団・関係団体の派遣・受入、 現地企業とのビジネスマッチング、企業誘致
G 経済交流（商業等）	
G-1 【全般】	商業分野全般に係る専門家・研修生・視察団・関係団体の派遣・受入
G-2 【観光】	旅行フェア開催・出展、セミナー開催・参加、 観光情報発信、旅行会社等訪問、ホテル誘致、現地における協議
G-3 【航空路・航路】	航空会社等訪問、船舶会社等訪問、現地視察
G-4 【物産】	物産展・見本市等の開催・出展、セミナー開催・参加、 現地バイヤーとの協議、現地企業とのビジネスマッチング、現地視察
G-5 【その他】	事業分類G-1～G-4に該当しない事業
H 行政交流	
H-1 【全般】	記念式典、首長等訪問団・視察団の派遣・受入、職員の派遣・受入
H-2 【社会・生活・ まちづくり】	地域活性化・防災・人権・男女共同・多文化共生等の分野に関する 専門家・研修生・視察団・関係団体の派遣・受入
H-3 【環境保全・ 自然保護】	ごみ・大気・水・エネルギー等の環境保全や動植物・森林等の保護など の分野に関する専門家・研修生・視察団・関係団体の派遣・受入
H-4 【土木・建築】	土木、建築、水道等の分野に関する専門家・研修生・視察団・関係団体の 派遣・受入
H-5 【その他】	事業分類H-1～H-4に該当しない事業
I ホストタウン交流	
I-1 【全般】	職員及び視察団等の派遣・受入、大使館への訪問、 オリンピック・パラリンピック後の交流に関する意見交換会
I-2 【教育】	小学生・中学生・高校生・大学生の交流
I-3 【文化】	文化関係のイベント等の開催・参加
I-4 【スポーツ】	事前キャンプの受入、選手等を招へいしたスポーツ教室、 スポーツチーム等の受入・派遣、スポーツ大会の開催・派遣
I-5 【その他】	事業分類I-1～I-4に該当しない事業
J 外国人技能実習生の人材 育成・受入等	交流先からの技能実習生の人材育成・受入
K その他の交流	事業分類A～Jに該当しない事業 例えば、民間団体等の親善訪問団派遣・受入、各種クラブ（ロータリー、 ライオンズ等）交流等

### Ⅲ 調査結果の概要

#### 1 海外自治体との姉妹（友好）都市以外の国際交流事業件数

令和元年度中、姉妹（友好）都市以外の国際交流事業は、国内 341 の自治体（都道府県 33、市区町村 308）と、海外 121 の国・地域との間で、1,181 件（都道府県 316 件、市区町村 865 件）が実施されました [表 1]。

[表 1 : 姉妹（友好）都市以外の国際交流事業件数]

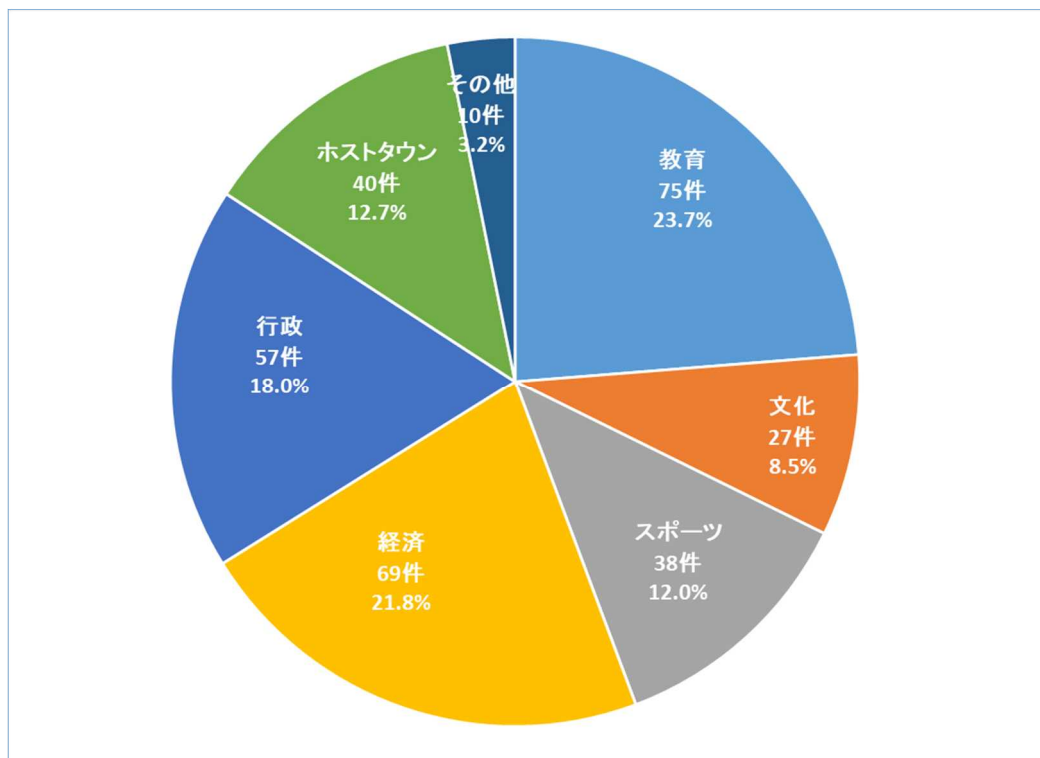
	都道府県	市区町村	市区町村			合計
			指定都市	市・区	町村	
事業件数	316	865	160	607	98	1,181
回答自治体数	33	308	14	226	68	341
交流相手先の国・地域(延数)	50	117	42	99	35	121

#### 2 姉妹（友好）都市以外の国際交流事業の分野

##### (1) 都道府県

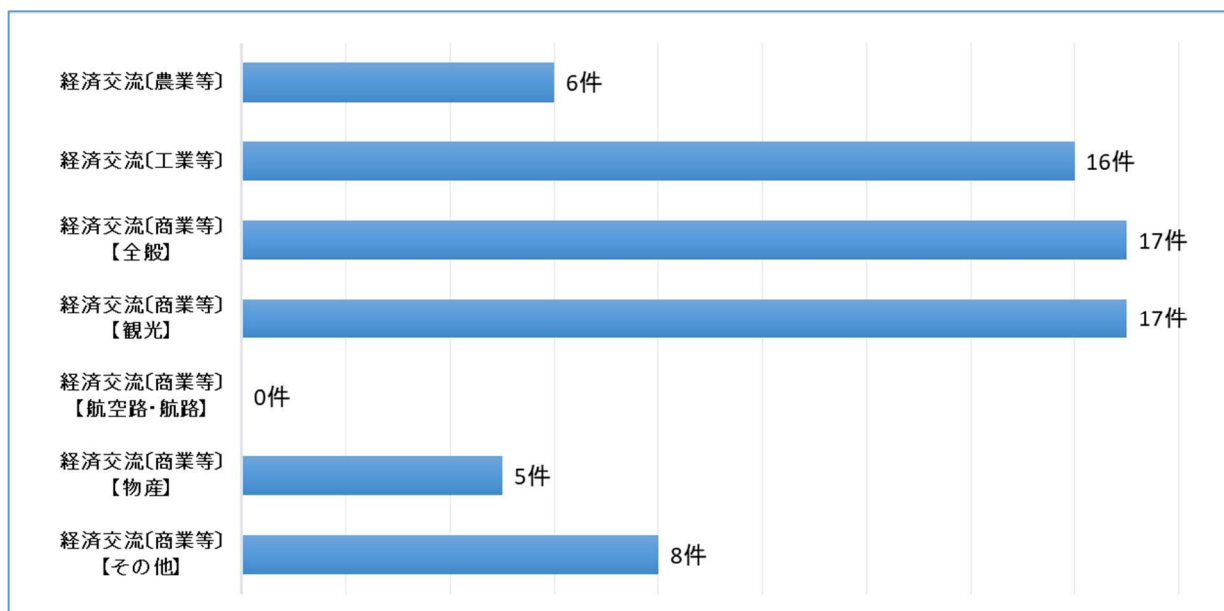
令和元年度中に都道府県が実施した姉妹（友好）都市以外の国際交流事業の分野に着目すると、「教育」分野が最も多く（75 件/23.7%）、次いで「経済」（69 件/21.8%）、「行政」（57 件/18.0%）の順となっています。姉妹（友好）都市提携に基づく交流と比較すると、「経済」交流の割合が高くなっています [図 2-1-1]。

[図 2-1-1 : 姉妹（友好）都市提携以外の国際交流事業の分野（都道府県）]



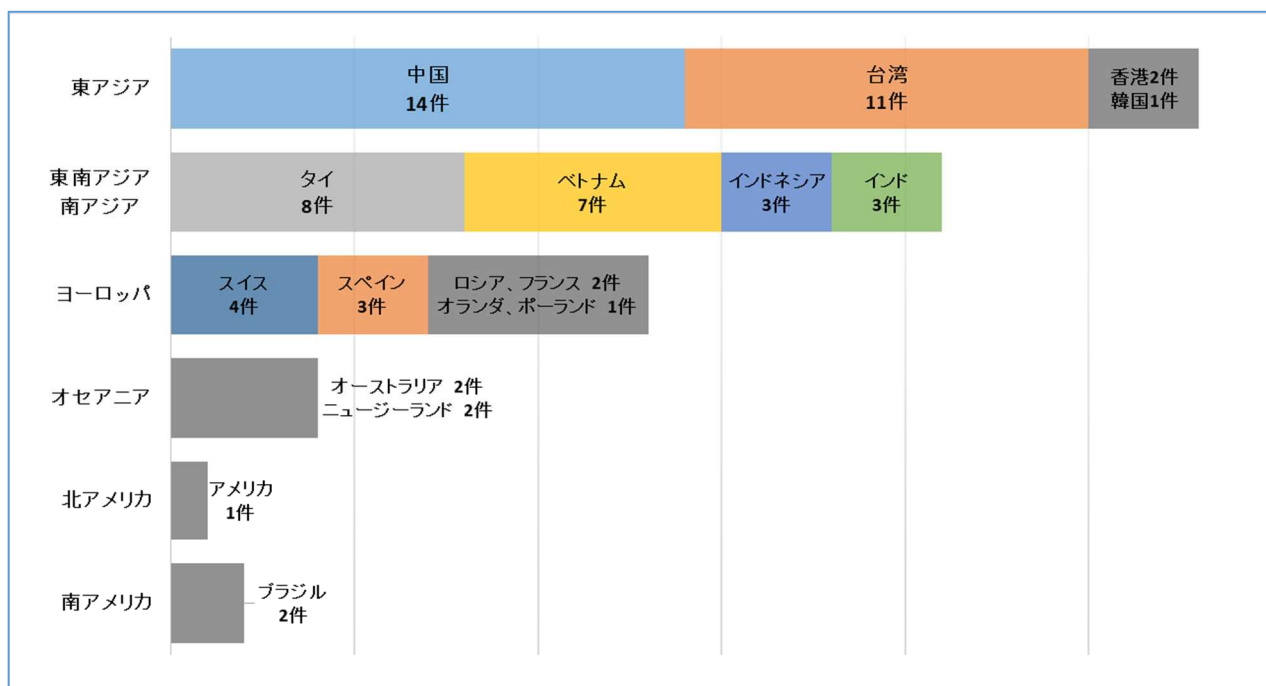
都道府県が行った「経済」交流（69件）の内訳をみると、「商業等」【全般】、【観光】の件数が最も多くなっており（17件）、観光分野での交流（インバウンド）に積極的に取り組んでいることがわかります〔図2-1-2〕。

〔図2-1-2：経済交流事業の内訳（都道府県）〕



都道府県が行った「経済」交流の相手先の国・地域を見ると、中国が最も多く（14件）、次いで台湾（11件）の順となっています。また、タイ（8件）、ベトナム（7件）など、東南アジアの国・地域との交流が比較的多くなっています〔図2-1-3〕。

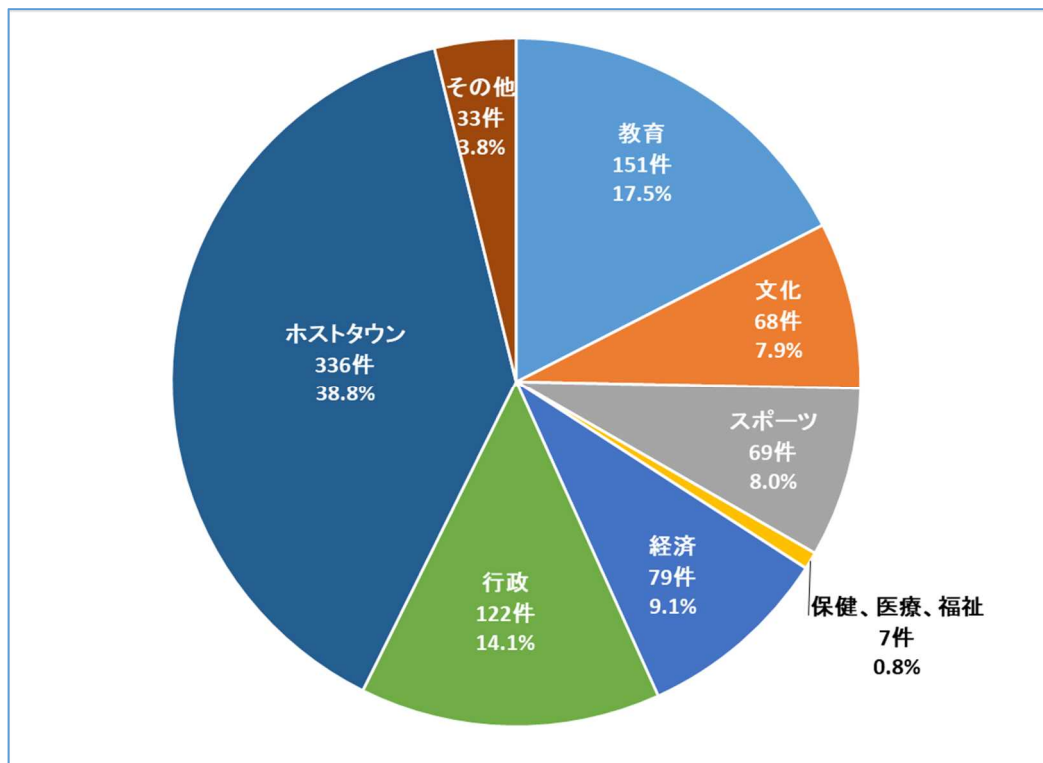
〔図2-1-3：経済交流事業（都道府県）の相手国・地域〕



## (2) 市区町村

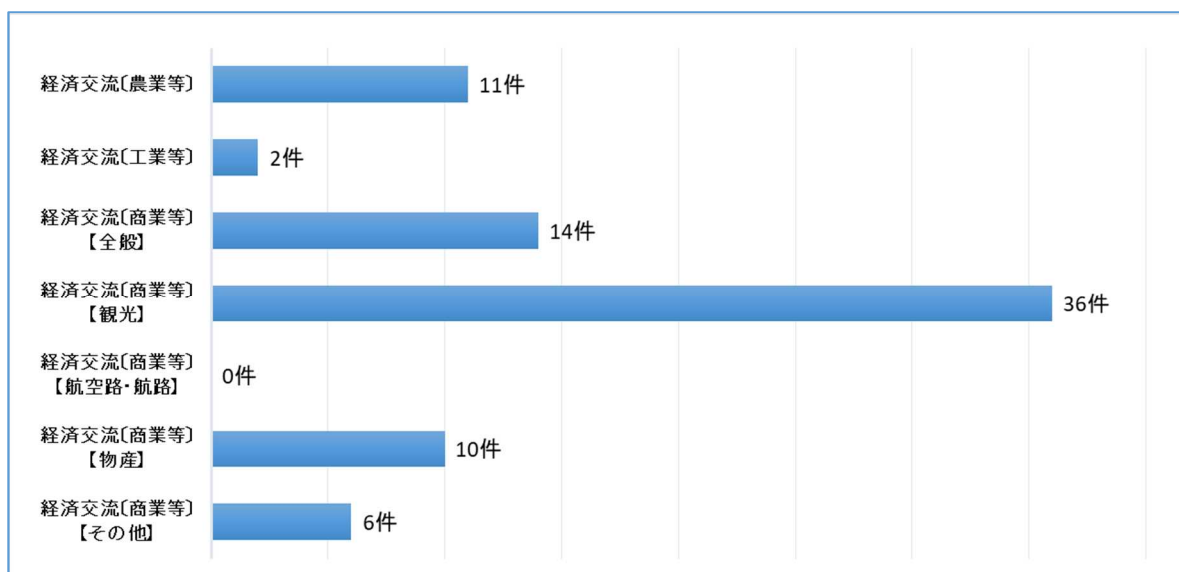
令和元年度中に市区町村が実施した姉妹（友好）都市以外の国際交流事業の分野に着目すると、「ホストタウン」分野が最も多く（337件/38.6%）、次いで「教育」（151件/17.3%）、「行政」（125件/14.3%）の順となっています。姉妹（友好）都市提携に基づく交流と比較すると、東京オリンピック・パラリンピック競技大会 2020 を契機として、「ホストタウン」交流が活発に行われていることがわかります〔図2-2-1〕。

〔図2-2-1：姉妹（友好）都市提携以外の国際交流事業の分野（市区町村）〕



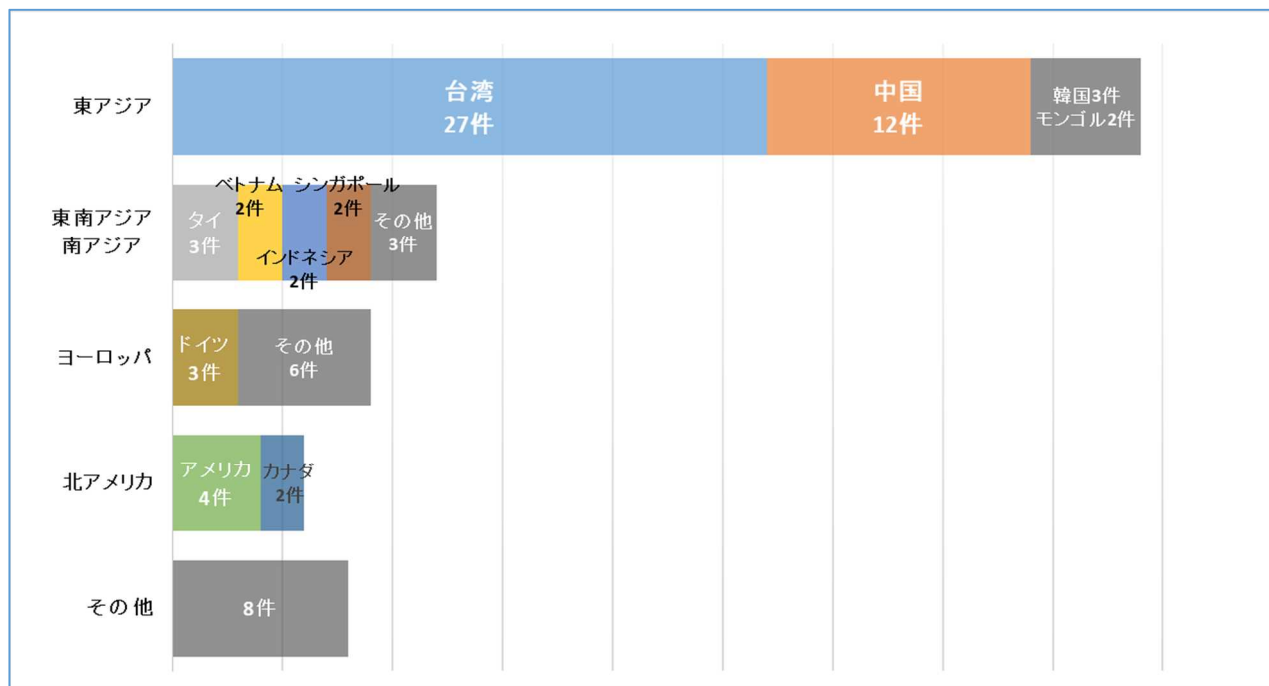
市区町村が行った「経済」交流（79件）の内訳をみると、〔商業等〕【観光】の件数が最も多くなっており（36件）、市区町村においても、観光分野での交流（インバウンド）に積極的に取り組んでいることがわかります〔図2-2-2〕。

〔図2-2-2：経済交流事業の内訳（市区町村）〕



市区町村が行った「経済」交流の相手先の国・地域を見ると、台湾が最も多く（27件）、次いで中国（12件）の順となっています〔図2-2-3〕。

〔図2-2-3：経済交流事業（市区町村）の相手国・地域〕

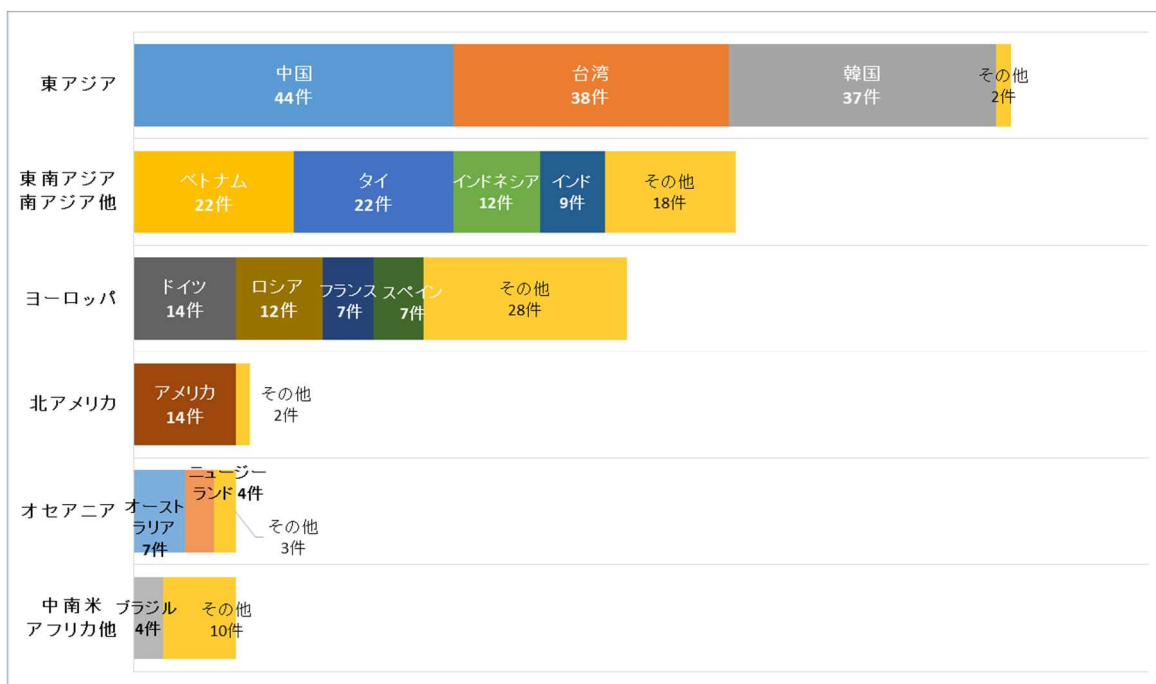


### 3 相手国・地域別の交流件数・交流分野について

#### (1) 都道府県

都道府県が実施した姉妹（友好）都市以外の国際交流事業について、交流相手先の国・地域を見ると、中国（44件）、台湾（38件）、韓国（37件）といった東アジアの国・地域が多くなっていますが、姉妹（友好）都市提携に基づく交流相手先の国・地域と比較すると、ベトナム（22件）、タイ（22件）といった東南アジアの国・地域との交流がヨーロッパや北アメリカの国・地域との交流よりも多くなっているのがわかります〔図3-1-1〕。

〔図3-1-1：姉妹（友好）都市提携以外の交流相手先の国・地域（都道府県）〕



相手国・地域別の交流事業の内容に着目してみますと、中国、台湾、ベトナム、タイなどアジアの国・地域との交流においては「経済」分野の割合が比較的高くなっています [図3-1-2]。

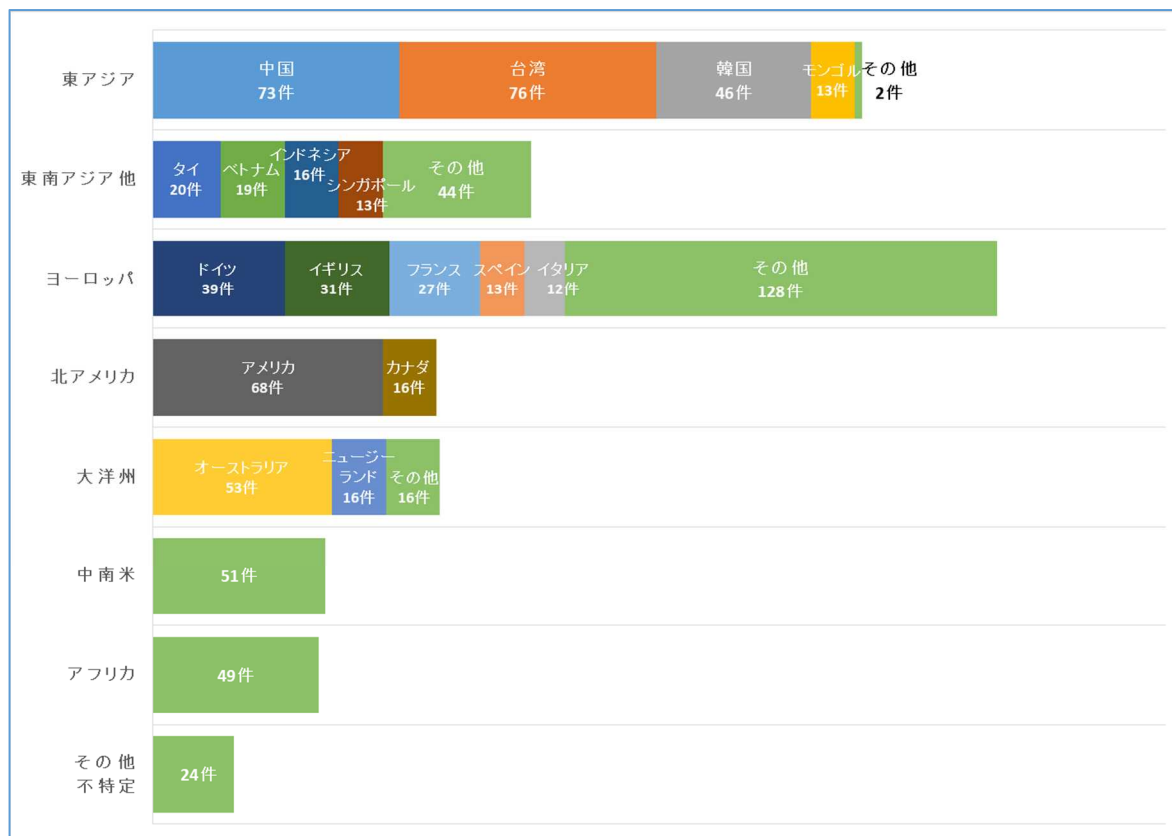
【図3-1-2：相手国・地域別の交流事業内容の割合（都道府県）（上位10の国・地域）】

順位	国名		教育	文化	スポーツ	保健、医療、福祉	経済	行政	ホストタウン	外国人技能実習生	その他	合計
1	中国	件数	7	8	2	0	14	13	0	0	0	44
		割合	(15.9%)	(18.2%)	(4.5%)	(0.0%)	(31.8%)	(29.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
2	台湾	件数	14	1	5	0	11	5	2	0	0	38
		割合	(36.8%)	(2.6%)	(13.2%)	(0.0%)	(28.9%)	(13.2%)	(5.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
3	韓国	件数	13	9	2	0	1	10	0	0	2	37
		割合	(35.1%)	(24.3%)	(5.4%)	(0.0%)	(2.7%)	(27.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(5.4%)	(100.0%)
4	ベトナム	件数	4	1	5	0	7	3	0	1	1	22
		割合	(18.2%)	(4.5%)	(22.7%)	(0.0%)	(31.8%)	(13.6%)	(0.0%)	(4.5%)	(4.5%)	(100.0%)
5	タイ	件数	7	1	1	0	8	2	3	0	0	22
		割合	(31.8%)	(4.5%)	(4.5%)	(0.0%)	(36.4%)	(9.1%)	(13.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
6	アメリカ	件数	10	1	1	0	1	1	0	0	0	14
		割合	(71.4%)	(7.1%)	(7.1%)	(0.0%)	(7.1%)	(7.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
7	ドイツ	件数	1	0	3	0	0	4	6	0	0	14
		割合	(7.1%)	(0.0%)	(21.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(28.6%)	(42.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
8	インドネシア	件数	3	0	1	0	3	4	1	0	0	12
		割合	(25.0%)	(0.0%)	(8.3%)	(0.0%)	(25.0%)	(33.3%)	(8.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
9	ロシア	件数	0	2	2	0	2	2	1	0	3	12
		割合	(0.0%)	(16.7%)	(16.7%)	(0.0%)	(16.7%)	(16.7%)	(8.3%)	(0.0%)	(25.0%)	(100.0%)
10	インド	件数	3	2	0	0	3	1	0	0	0	9
		割合	(33.3%)	(22.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(33.3%)	(11.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
11	その他	件数	13	2	16	1	19	12	27	0	2	92
		割合	(14.1%)	(2.2%)	(17.4%)	(1.1%)	(20.7%)	(13.0%)	(29.3%)	(0.0%)	(2.2%)	(100.0%)
	合計	件数	75	27	38	1	69	57	40	1	8	316
		割合	(23.7%)	(8.5%)	(12.0%)	(0.3%)	(21.8%)	(18.0%)	(12.7%)	(0.3%)	(2.5%)	(100.0%)

## (2) 市区町村

市区町村が実施した姉妹（友好）都市以外の国際交流事業について、交流相手先の国・地域を見ると、アジア及び東アジアの国・地域との交流件数が多くなっており（323件）、次いでヨーロッパとの交流が多くなっています（252件）。また、市区町村においては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会2020を契機とした「ホストタウン」交流が活発に行われていることから、大洋州や中南米、アフリカとの交流も比較的多くなっており、市区町村の国際交流は、より多様な国・地域との交流に広がっています [図3-2-1]。

[図3-2-1：姉妹（友好）都市提携以外の交流相手先の国・地域（市区町村）]



相手国・地域別の交流事業の内容に着目してみますと、台湾、中国、タイ、ベトナムなどアジアの国・地域との交流においては「経済」分野の割合が比較的高くなっています [図3-2-2]。

[図3-2-2：相手国・地域別の交流事業内容の割合（市区町村）（上位10の国・地域）]

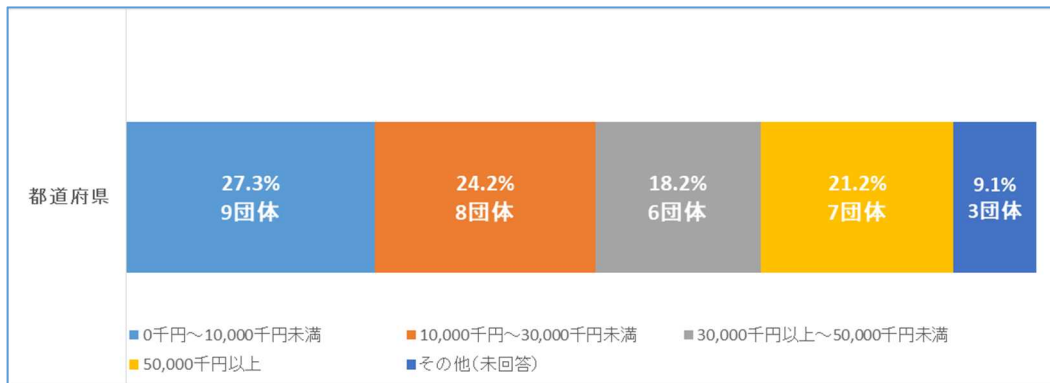
順位	国名		教育	文化	スポーツ	保健、医療、福祉	経済	行政	ホストタウン	外国人技能実習生	その他	合計
1	台湾	件数	13	6	7	0	27	14	9	0	0	76
		割合	(17.1%)	(7.9%)	(9.2%)	(0.0%)	(35.5%)	(18.4%)	(11.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
2	中国	件数	17	12	4	0	12	22	1	0	5	73
		割合	(23.3%)	(16.4%)	(5.5%)	(0.0%)	(16.4%)	(30.1%)	(1.4%)	(0.0%)	(6.8%)	(100.0%)
3	アメリカ	件数	26	4	4	2	4	10	10	0	8	68
		割合	(38.2%)	(5.9%)	(5.9%)	(2.9%)	(5.9%)	(14.7%)	(14.7%)	(0.0%)	(11.8%)	(100.0%)
4	オーストラリア	件数	27	2	6	0	0	4	13	0	1	53
		割合	(50.9%)	(3.8%)	(11.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(7.5%)	(24.5%)	(0.0%)	(1.9%)	(100.0%)
5	韓国	件数	15	7	7	1	3	7	5	0	1	46
		割合	(32.6%)	(15.2%)	(15.2%)	(2.2%)	(6.5%)	(15.2%)	(10.9%)	(0.0%)	(2.2%)	(100.0%)
6	ドイツ	件数	5	4	1	0	3	4	19	0	3	39
		割合	(12.8%)	(10.3%)	(2.6%)	(0.0%)	(7.7%)	(10.3%)	(48.7%)	(0.0%)	(7.7%)	(100.0%)
7	イギリス	件数	5	4	7	0	1	3	8	0	3	31
		割合	(16.1%)	(12.9%)	(22.6%)	(0.0%)	(3.2%)	(9.7%)	(25.8%)	(0.0%)	(9.7%)	(100.0%)
8	フランス	件数	2	2	0	0	1	8	14	0	0	27
		割合	(7.4%)	(7.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(3.7%)	(29.6%)	(51.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
9	タイ	件数	6	1	1	0	3	0	9	0	0	20
		割合	(30.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(0.0%)	(15.0%)	(0.0%)	(45.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
10	ベトナム	件数	1	2	0	2	2	7	5	0	0	19
		割合	(5.3%)	(10.5%)	(0.0%)	(10.5%)	(10.5%)	(36.8%)	(26.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)
11	その他	件数	34	24	32	2	23	43	243	1	11	413
		割合	(8.2%)	(5.8%)	(7.7%)	(0.5%)	(5.6%)	(10.4%)	(58.8%)	(0.2%)	(2.7%)	(100.0%)
合計	合計	件数	151	68	69	7	79	122	336	1	32	865
		割合	(17.5%)	(7.9%)	(8.0%)	(0.8%)	(9.1%)	(14.1%)	(38.8%)	(0.1%)	(3.7%)	(100.0%)



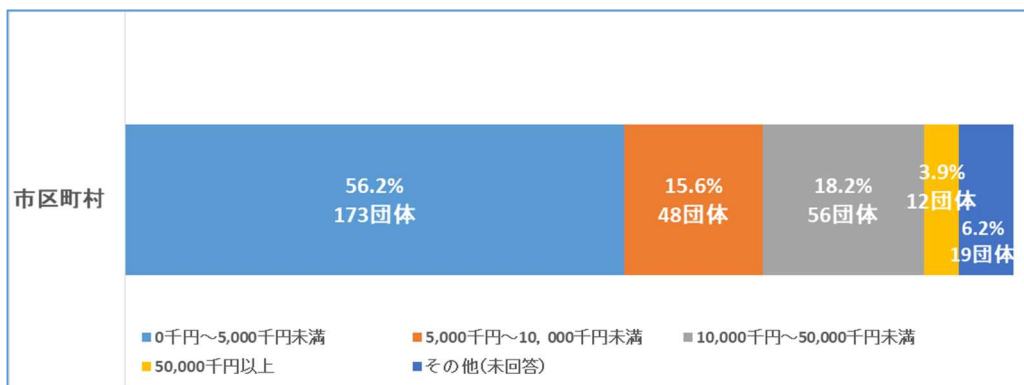
#### 4 姉妹（友好）都市提携以外の国際交流に係る事業費について

国際交流活動にかかる1自治体あたりの総事業費を見ますと、都道府県では、10,000千円未満が最も多く（9団体/27.3%）、次いで10,000千円以上30,000千円未満（8団体/24.2%）となっています。市区町村では、5,000千円未満が最も多く（173団体/56.2%）、全体の半数以上を占めています〔図4-1〕〔図4-2〕。

〔図4-1：1自治体あたりの総事業費（都道府県）〕



〔図4-2：1自治体あたりの総事業費（市区町村）〕



(参考) 令和元年度 姉妹(友好)都市以外の自治体の国際交流事業 交流相手国・地域別件数

<都道府県>

	教育	文化	スポーツ	保健、医療、福祉	経済	行政	ホストタウン	外国人技能実習生	その他	合計
アフガニスタン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
アメリカ	10	1	1	0	1	1	0	0	0	14
イギリス	1	1	1	1	0	0	1	0	0	5
イタリア	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
インド	3	2	0	0	3	1	0	0	0	9
インドネシア	3	0	1	0	3	4	1	0	0	12
エジプト	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
オーストラリア	3	0	1	0	2	1	0	0	0	7
オーストリア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
オセアニア地域	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
オランダ	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
カザフスタン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
カナダ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
韓国	13	9	2	0	1	10	0	0	2	37
カンボジア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ケニア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
コロンビア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
スイス	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
スウェーデン	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
スペイン	0	0	4	0	3	0	0	0	0	7
ジョージア	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3
タイ	7	1	1	0	8	2	3	0	0	22
台湾	14	1	5	0	11	5	2	0	0	38
中国	7	8	2	0	14	13	0	0	0	44
デンマーク	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ドイツ	1	0	3	0	0	4	6	0	0	14
ドミニカ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ニュージーランド	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4
ネパール	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
ノルウェー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ハンガリー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
バングラデシュ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
フィジー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
フィリピン	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
フィンランド	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ブラジル	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
フランス	0	0	1	0	2	3	1	0	0	7
ブルガリア	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
ベトナム	4	1	5	0	7	3	0	1	1	22
ベラルーシ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ポーランド	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ポルトガル	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
香港	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
マレーシア	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
南アフリカ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ミャンマー	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
メキシコ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
モザンビーク	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ラオス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ルーマニア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ロシア	0	2	2	0	2	2	1	0	3	12
英語圏	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	75	27	38	1	69	57	40	1	8	316

<市区町村>

	教育	文化	スポーツ	保健、医療、福祉	経済	行政	ホストタウン	外国人技能実習生	その他	合計
アイスランド	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
アイルランド	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
アメリカ	26	4	4	2	4	10	10	0	8	68
アルジェリア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
アルゼンチン	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
アンゴラ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
イギリス	5	4	7	0	1	3	8	0	3	31
イスラエル	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
イタリア	0	1	4	0	0	2	4	0	1	12
インド	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
インドネシア	0	1	1	1	2	5	3	1	2	16
ウガンダ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ウクライナ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ウズベキスタン	0	1	0	0	1	0	4	0	0	6
ウルグアイ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
エジプト	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
エストニア	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
エチオピア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
エリトリア	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
エルサルバドル	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
オーストラリア	27	2	6	0	0	4	13	0	1	53
オーストリア	2	0	2	0	0	1	3	0	0	8
オランダ	0	1	0	0	1	0	6	0	1	9
ガーナ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
ガイアナ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
カザフスタン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
カナダ	5	1	0	0	2	2	6	0	0	16
カメルーン	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
韓国	15	7	7	1	3	7	5	0	1	46
ガンビア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
キューバ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
ギリシア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
キルギス	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
グアテマラ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クロアチア	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
ケニア	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
コートジボワール	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
コスタリカ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
コソボ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
コロンビア	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
サウジアラビア	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
サモア	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
ジョージア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
シンガポール	6	1	0	0	2	0	4	0	0	13
スイス	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
スウェーデン	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
スペイン	1	0	2	0	1	0	9	0	0	13
スリランカ	0	0	0	0	0	1	8	0	0	9
スロバキア	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
スロベニア	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
セルビア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
モトピンセント・グレナディーン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
タイ	6	1	1	0	3	0	9	0	0	20
台湾	13	6	7	0	27	14	9	0	0	76
タジキスタン	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
チェコ	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
中国	17	12	4	0	12	22	1	0	5	73

<市区町村>つづき

	教育	文化	スポーツ	保健、医療、福祉	経済	行政	ホストタウン	外国人技能実習生	その他	合計
チュニジア	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
チリ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ツバル	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
デンマーク	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
ドイツ	5	4	1	0	3	4	19	0	3	39
トーゴ	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
ドミニカ	0	0	1	0	1	0	2	0	0	4
トリニダード・トバゴ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
トルクメニスタン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
トルコ	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
ナイジェリア	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
ナミビア	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
ニカラグア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ニュージーランド	6	0	2	0	0	0	7	0	1	16
ネパール	1	0	0	0	1	1	3	0	0	6
ノルウェー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
パナマ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
バヌアツ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
パラオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
パラグアイ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
バルバドス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ハンガリー	0	1	0	0	0	0	7	0	0	8
フィジー	1	0	3	0	0	0	5	0	0	9
フィリピン	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
フィンランド	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
ブータン	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
ブラジル	0	1	1	0	0	1	6	0	0	9
フランス	2	2	0	0	1	8	14	0	0	27
ブルガリア	0	1	0	0	0	0	3	0	0	4
ブルンジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ベトナム	1	2	0	2	2	7	5	0	0	19
ベナン	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4
ベラルーシ	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
ベリーズ	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
ベルギー	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
ポーランド	0	1	0	0	0	0	4	0	0	5
ボツワナ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ポルトガル	0	0	1	0	0	1	3	0	0	5
香港	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
マリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
マレーシア	3	0	0	0	1	3	1	0	1	9
南アフリカ	0	0	2	0	0	0	2	0	0	4
南スーダン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ミャンマー	0	0	0	0	0	1	4	0	0	5
メキシコ	0	1	0	0	0	2	3	0	0	6
モーリシャス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
モザンビーク	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
モルドバ	0	0	0	0	0	0	9	0	1	10
モロッコ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
モンゴル	1	0	0	0	2	2	8	0	0	13
ヨルダン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ラオス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
リトアニア	0	1	0	0	0	0	8	0	0	9
ルーマニア	0	1	0	0	0	0	3	0	0	4
ルワンダ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
ロシア	2	2	0	0	0	4	0	0	0	8
その他(不特定等)	1	6	2	0	5	1	11	0	1	27
合計	151	68	69	7	79	122	336	1	32	865